

▼別ショットの写真



今月の表紙は、10月10日(水)に豊坂小学校で行われたすもう大会の写真です。校庭にあるすもう場で行われた学級代表者戦では、全校児童が応援する中、白熱した取組になりました。

「豊坂場所 千秋楽、勝負の行方は……！」

## 今月の表紙

# みんなの

# 広場

サークル紹介・みんなの作品展への  
皆さんからの応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1幸田町役場企画政策課政策情報グループ  
☎62-1111(内線333) FAX63-5139 E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp

## こうたの文化財

### 野場地区 その①

#### まるやまこふん 丸山古墳

丸山古墳は、野場字大岩にある直径が40m高さ約10mの円墳で、大岩山から続く丘陵を利用し築造されています。墳丘には葺石が確認されるほか、古墳周辺で円筒埴輪が採集されています。埴輪と古墳の規模から5世紀前半の古墳であると推測されています。



(所在地：野場字大岩地内)

#### くまのじんじや 熊野神社

冷泉天皇の時代(平安時代中期)、この地を訪れた高倉左中将が紀伊国熊野より勧請し、この地の産土神としたのが始まりと伝えられています。主祭神は伊邪那美命。境内には幹回りが3mを越す大きなクスノキがひっそりと立ち、参拝客を迎えてくれます。



(所在地：野場字西脇14)

## みんなの作品展!

「読書感想画展」からのセレクトです。



豊坂小  
須山 優空さん  
4年



中央小  
樋木 更紗さん  
6年

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課政策情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

### 今月の記念日

#### 11月2日は「習字の日」

11月2日を「習字の日」と制定した理由は、11(いいい)2(もじ)の語呂合わせの意味と、文化祭などの多い11月の文化月間に合わせたもので、活字文字全盛の今、毛筆や硬筆で文字を美しく書く伝統文化を広め、継承することを目的とした記念日です。「習字の日」が、日本文化の振興・発展に大きく貢献する日として日本全国に定着し、書道を通じての文化・教育活動をより一層発展させるため、日本習字教育財団がさまざまな活動を展開し、手書き文字の力強さや魅力、その重要性を伝えていきます。平成27年度から「手紙の書き方ブック」を作成し、全国の日本習字教室に無料で配布しています。手書き文字からは、書いた人の人柄が自然に伝わり、書いた人への興味を喚起したり、理解を深めたりすることができます。「習字の日」には筆やペンを執ってみてはいかがでしょうか。

\*参考資料：公益財団法人 日本習字教育財団ホームページより



# 青春トークワレ!

第308走者

やまもと ゆうすけ  
**山本 悠介** さん

坂崎区在住 20歳 職業 会社員

血液型 AB型 身長 165cm

好きなタイプ 明るい人、  
気配りができる人

好きな芸能人 鈴木亮平、長澤まさみ

私は、社会人3年目となり職場にも慣れ、毎日充実した日々を送っています。元来私は、面倒くさがり屋で、手間のかかること、答えがすぐに見つからないとやりたくない気持ちがいつも勝っていました。そんな時、スタジオジブリの宮崎駿さんの言葉に接する機会がありました。宮崎さんは、自分の仕事について「面倒くさいという自分の気持ちとの戦いなんだよ。世の中の大事なことは、たいてい面倒くさい」と語っていました。スマホですぐに見つけた答えは、すぐに忘れてしまう私ですが、宮崎さんのように手間や時間をかけたことは身に付くと信じて面倒くさいと思う自分を変えていきたいと思っています。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。



菱池保育園の運動会の2週間前、年長児は、リレーのチームに分かれて染めたTシャツ作りをしました。チーム名にちなんで、水色・黄色・紫色・オレンジ色の4色の染めTシャツです。まずは、白いTシャツに輪ゴムや風糸を使って、好きな所を縛っていきま

す。折りたたんで縛る子、無造作に丸めて縛る子とそれぞれでしたが、面白いのは、同じように縛って染めたTシャツでも、全く同じ模様にはならないということですよ。「先生、見て！きれいでしょ」

### 「染めたTシャツ作り」 「運動会年長リレー」

「某月某日」  
「菱池保育園」  
わんぱくたより



「四角い模様がある」  
「うわあ、きれい」  
染めたTシャツを自分の手で広げるときが一番楽しい瞬間です。みんなちがって、みんないい。そんな世界にたった一つの染めたTシャツが完成しました。

## ちと編集者のひびく

こんにちは！ 編集者のHです。秋も深まってきました。幸田町の特産品である筆柿の収穫が終盤を迎えています。皆さんはもう食べましたよね？ えっ、まだ食べてない人がいるんですか！ そんな人のために、筆柿の取材現場をお伝えします。

今年は、JAあいち三河・幸田営農センターで9月19日(水)に初出荷されました。ほかの柿よりも収穫時期が早く、コクのある甘み特徴の筆柿ですが、中には渋柿も混じっています。甘柿と渋柿を選別する時に活躍しているのが、非破壊検査機器です。光を当てて透過した光の量から分析しています。全国シェア95%以上を占める幸田町の筆柿は、こうして全国へ旅立っていくのです。ちなみに、筆柿は皮ごと食べられることを知っていましたか？ 皮をむくのが面倒くさい、そんなあなたにおすすめの食べ方です。

筆柿のオレンジ色は、幸田町のイメージカラーとして定着しつつありますね。12月1日(土)に行われる愛知駆伝では、オレンジ色のユニフォームを着用した幸田町代表選手が出場します。皆さんもぜひ会場のモリコロパークで応援しましょう！(H)